

事業名	伊丹市視察・「伊丹市庁舎×大阪・関西万博プロジェクト 地域材を活用した地域循環型・クスノキベンチ」
-----	--

目的 （どのような課題を解決するためかなど）	2027年に本市近隣の横浜市で開催される国際園芸博覧会への機運を高める取組を本市でも進めていく参考にするため。
内容	「伊丹市庁舎×大阪・関西万博プロジェクト地域材を活用した地域循環型・クスノキベンチ」について。子供たちをはじめとする地域住民、市民ともに制作し、庁舎整備に伐採した地元の木材を活用することで環境に配慮しながら大阪・関西万博への機運を高める取組をしている。また、伊丹市役所新庁舎は、市民の安全・安心な暮らしを支え、夢と魅力があふれる庁舎や伊丹市ゼロカーボンシティ宣言、「行かなくていい、書かなくていい、待たなくてもいい」を実現するスマート窓口の実現・「働く時間と場所を自ら選択する働き方改革を実現する、ワークスペースの設置」等、先進的な発想で質の高い行政サービスを提供している。
成果等 （市に活かせること等）	2027年に本市近隣の横浜市で開催される国際園芸博覧会への機運を高める取組を本市でも進めていくことの参考にするため、世界に紹介できるようなグリーン化の取組などを探る必要があると考える。特に伊丹市が進めるグリーン市役所の取組は横浜国際園芸博覧会の開催を契機に検討をする必要がある。大和市もゼロカーボンに向けた取組、泉の森をはじめ、市内の多くの緑の好循環を活かした共生や、国際園芸博覧会の開催とともにサテライト会場の設置で、市の花であるノギクやヤマザクラを使った催しが何か出来ないかなど、世界にアピールできる取組が必要であると考え。大和市民の利益を第一に考え、伊丹市での学びを参考に、あらゆる面でできることを探っていきたいと考える。